



重信川かわまちづくり



かわまちづくり支援制度～良好なまち空間と水辺空間の形成～

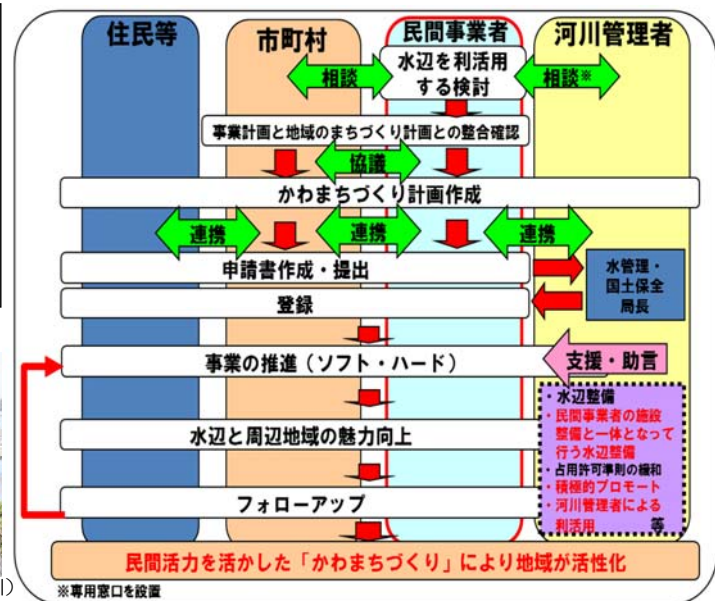
河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

【ソフト対策】

優良事例等に関する情報提供のほか、河川敷のイベント広場やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定等を支援

【ハード支援】

治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援



【登録の条件】 ※191地区登録（平成30年度末日時点）

- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

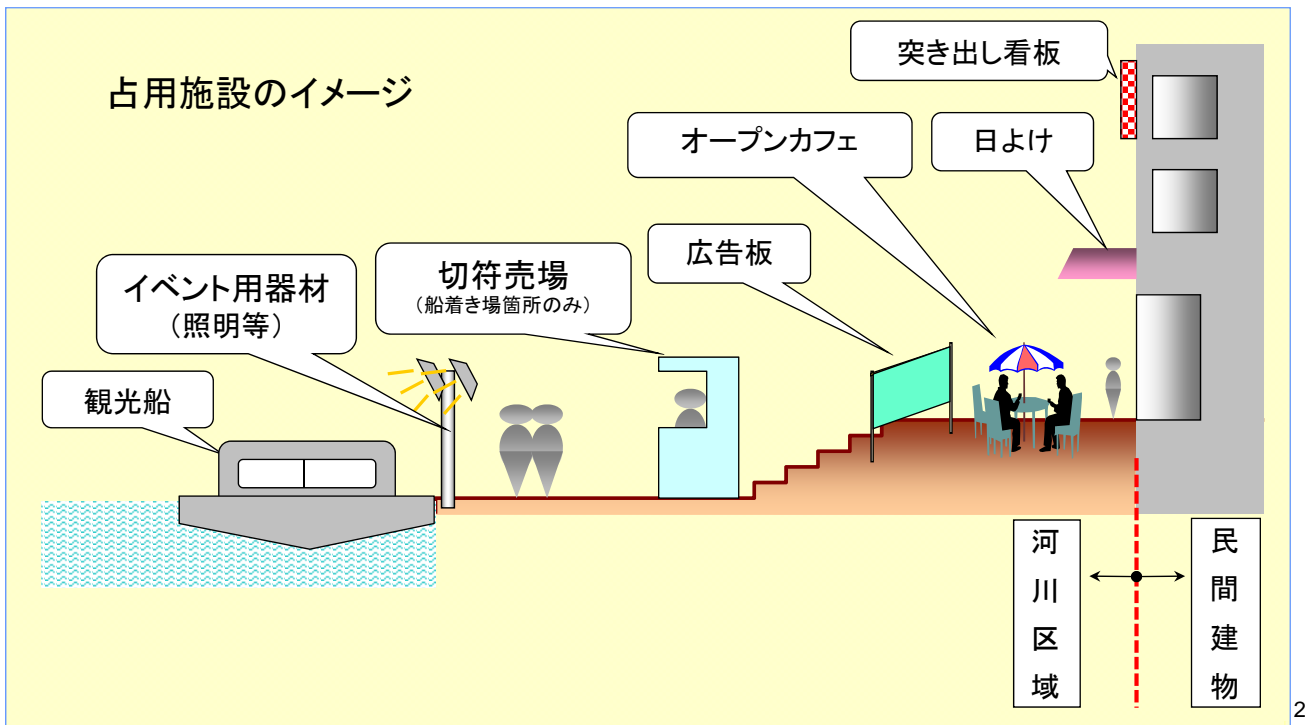


水辺のオープンカフェ（京橋川）

管理用通路をフットパスとして活用（最上川）

地域振興や経済活性化に向けた取組支援(占有準則の緩和)

平成23年3月の準則改正により、全国の河川で民間事業者が、飲食店、オープンカフェ、広告板、照明・音響施設、バーベキュー場等を設営することが可能となった。全国で水辺空間の様々な利用が加速している。



水辺の利用は「ダメ! ダメ!」から、「やれるかも!」へ。

<旧来の規制>

主体は公的機関に限定。
公共性、公益性が
重視されていた。

~~飲食施設~~

~~民間施設~~

No

No

<規制緩和で>

民間の参入が可能。
カフェ施設やイベント実施
などが可能に。

イベント

オープンカフェ

売店

船上食事施設

川床

OK!

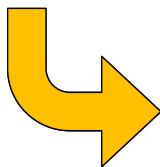
京橋川(広島県広島市)

河川敷地占用許可準則の緩和により、協議会が占用した河畔空間に民間企業がオープンカフェを設置



取組以前

占用主体：協議会（水の都ひろしま推進協議会）



現在の状況

4

都幾川(埼玉県ときがわ町)

川の広場 全景



- 県が賑わい空間として河川敷地を整備
- 車両の乗り入れが可能なバーベキュー場として活用



予約サイト

都市・地域再生等利用区域 平面図 (ときがわ町の広場)

ときがわ町 大字玉川 縮尺1:2,000

名称	ときがわ町川の広場
場所	埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川地内
内容	バーベキュー場、売店
面積	12,005㎡
開業日	平成25年7月20日
入込客数	夏休み期間 平成25年度 1,500人 平成26年度 1,900人(+400人) 【参考】2,400人(H25.7~H25.12)



利用区域 12,005㎡

5

おしゃれなり・Bar(福井県越前市・日野川)



イベントからリバービジネスへ

かわまちづくりプロジェクトって？



1. 重信川流域の概要

- ・重信川は、愛媛県中央部に位置する流路延長36kmの一級河川であり、沿川には四国最大の都市である松山市をはじめとする3市2町があり、約64万人の人口が集中している。
- ・流域は山地が約70%を占め、中・下流の扇状地においても河床勾配は急であり、全国でも屈指の急流河川となっている。また、瀬戸内式気候の影響を受け、瀬切れも頻発する。
- ・流域の恵まれた自然環境に加え、道後温泉を始めとする観光地や大規模なスポーツ施設もあり、地域の賑わいを創出できる大きなポテンシャルを秘めている。



2. 愛媛県の自転車新文化の推進～サイクリングパラダイス愛媛の実現～

◆愛媛県では、『地域経済の活性化』に向けた主要プロジェクトの一環として、『自転車新文化』を推進している。

『地域経済の活性化』に向けた主要プロジェクト

【自転車新文化の推進】

- 供用中の高速道路を使ったサイクリング大会
- サイクリングパラダイス愛媛の実現
- 自転車安全利用の促進

施策推進によって

主な施策：自転車県としてのブランド化

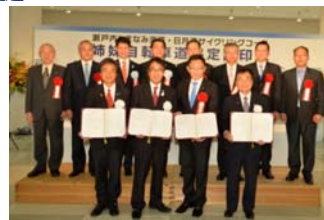
- ・「サイクリストの聖地」しまなみ海道での国際サイクリング大会の定期開催
- ・しまなみ海道自転車通行無料化
- ・姉妹自転車道協定締結しまなみ海道×台湾「日月潭」
- ・地域資源と組み合わせたツアー商品造成 等



○高速道路や瀬戸内の美しい島々を舞台に行うサイクリング大会(サイクリングしまなみ)



○CNNテレビで世界7大サイクリングルートの一つに選定



○台湾・日月潭と瀬戸内しまなみ海道との姉妹自転車道協定締結



○サイクルツーリズムモデルコースの提案・サイクルトレイン



サイクリングアイランド 四国の実現へ！

四国四県知事の連携

4県知事が連名で「サイクリングアイランド四国の実現」に向けて一体となって取り組むことを決議

サイクリングアイランド四国 推進協議会設立

・「サイクリングアイランド四国」の実現に向けた連携・協力
 ・安全・快適なサイクリング環境を整備
 ・国内外に四国の魅力を発信することによるサイクリストの誘客促進・交流人口の拡大

四国一周ルートの設定

四国一周サイクリストへおもてなしを提供できる企業や飲食店等を 募集

主な施策：自転車の安全利用



○愛媛県自転車安全利用促進条例(シェア・ザ・ロード)・自転車安全利用セミナーの開催



○自転車ヘルメット着用・自転車保険加入の促進

民間の取り組み



○地元民放局によるサイクリング番組



○NTTタウンページのサイクリング特集記事

重点戦略エリアとしての『重信川自転車道 水と緑の癒やしのみちコース』

重信川自転車道 水と緑の癒やしのみちコースとは？



- ◆ 重信川の河川敷を利用し、松山市～東温市に至るコース。
- ◆ 道後温泉等の観光施設からも近く、初心者でも手軽にサイクリングを楽しめる環境を有している。
- ◆ 緑豊かな自然、清水が湧き出る泉、野鳥のさえずりなど、川沿いの自然環境を満喫できる。
- ◆ 周囲には公園や休憩スポットも多く、少し足をのばせば「とべ動物園」や「えひめこどもの城」などの観光・体験施設もある。
- ◆ 平成30年9月3日には、愛媛県によって、**サイクリングパラダイス愛媛実現のための重点戦略エリア**に設定されている。

重点戦略エリア設定による効果は？

市町と県や民間企業が連携し、自転車道を通じて、テーマ性のある施策展開が可能になる。

地域住民への効果

- サイクリングによる健康・生きがい・友情づくり
- 交流人口の拡大による地域活性化
- 自転車利用の普及・拡大
- サイクリングイベント開催による周辺店舗の集客数の増加
- 企業等と連携したおもてなし態勢(環境)の整備



県外客やインバウンド等への効果

- サイクリスト人気の旅行先ランキング10位(楽天トラベル)の「松山・道後」からの入込客数の増加
- 松山(道後)を訪れる観光客が気軽に楽しめる訪れる体験型アクティビティの提供
- 大型クルーズ船寄港時におけるインバウンドへの体験型アクティビティの提供
- 観光とサイクリングイベント等のコラボ企画の提供



10

3. かわまちづくり計画立案のための検討体制及び検討状況について

重信川かわまちづくり懇談会

《目的》
重信川・石手川において、地域活性化のために市町、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、「河川空間」「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指すことを目的に、『かわまちづくり計画』の作成にあたっての意見交換等を行うものである。

《委員構成》
・愛媛大学学識者(矢田部教授・松村教授・三宅准教授)
・民間事業者等
((有)上野サイクル・重信川エコリーダー・松山白鷺ライオンズクラブ等)
・松山河川国道事務所(河川副所長)(オブザーバー)

かわまちづくり計画に関する要望・助言
(基本方針等の作成)

重信川かわまちづくり協議会

《目的》
重信川・石手川において、地域活性化のために市町、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、「河川空間」「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指すことを目的に、『かわまちづくり計画』を作成するものである。

《委員構成》
・流域市町関係課長
(松山市・東温市・松前町・砥部町)
・愛媛県
(総合政策課自転車新文化推進室・中予地方局)

かわまちづくり計画に関する検討
(要望等に関する計画調整)

連絡・連携調整(事務局:松山河川国道事務所)

重信川かわまちづくり計画の作成

11

4. かわまちづくり計画立案のための検討体制及び検討状況について

重信川かわまちづくりに 関する活動

⇒今後も、「かわまちづくり計画」策定に向け、
定期的に協議を行っていく。

- ◆平成29年8月7日：第1回「重信川かわまちづくり懇談会」
⇒ 会議内容：規約の確認、工程の確認、かわまちづくりの概要説明、意見の収集 など
- ◆平成29年8月28日：第1回「重信川かわまちづくり協議会」
⇒ 会議内容：規約の確認、工程の確認、概要説明、意見の収集 など
- ◆平成29年9月19日：第2回「重信川かわまちづくり懇談会」
⇒ 会議内容：現地視察、かわまちづくり意見収集 など
- ◆平成29年10月24日：第3回「重信川かわまちづくり懇談会」
⇒ 会議内容：基本方針・整備計画（案）の確認、整備候補箇所への意見、サイクリングロード・遊歩道への意見、環境学習への意見 など
- ◆平成29年11月21日：第2回「重信川かわまちづくり協議会」
⇒ 会議内容：基本方針（案）の確認、計画（案）の確認、意見の収集 など
- ◆平成30年3月～8月：第3回「重信川かわまちづくり協議会」
⇒ 会議内容：個別協議（かわまち計画内容（案））
- ◆平成30年5月28日：流域首長への重信川事業説明会
⇒ 会議内容：治水事業説明、かわまちづくり内容説明
- ◆平成31年8月以降も詳細な内容等について個別協議を実施。
- ◆平成31年1月21日：「重信川かわまちづくり」計画の申請
- ◆平成31年3月8日：「重信川かわまちづくり」計画の登録
- ◆平成31年3月23日：「重信川かわまちづくり」計画の登録証伝達式



第2回 重信川かわまちづくり懇談会
(現地視察)



第3回 重信川かわまちづくり懇談会



第2回 重信川かわまちづくり協議会

5. 重信川かわまちづくり方針

【重信川かわまちづくり計画 概要と将来イメージ】

自然と人、人と人の出あいの場、重信川

松山市中心市街地 観光地

～基本方針～

出あいの場をつくります。
安全・安心な水辺空間をつくります。
学びの場をつくります。

出あい：水辺ににぎわいをつくるかわまちづくり

- 人と人との出あい
→ イベントが可能な広場の整備
伊予野風物詩いもたきの継続実施
花火大会・水辺イベント（マルシェ、サイクルイベント）
- 自然と人との出あい
→ 遊歩道・サイクリングロード
親水護岸、トイレ、駐車場、ベンチ、サイクルスタンド
- 地域との協働による清掃・維持管理

安全・安心：安らいだくらしのためのかわまちづくり

- 治水対策による治水安全度の向上
- 防災・水防訓練による水防意識の向上
- サイクリングロードの安全生向上
- 避難ルートの確保
- 案内サインなど

学び：豊かなところをはぐむかわまちづくり

- 自然再生実施箇所や既存施設を活かした環境学習
- 防災ステーションや歴史ある治水施設を活用した防災学習
- 交通や水辺における安全教育
- インフラツーリズム・グリーンツーリズム



6. 各拠点箇所での整備内容（案）（サイクリングロード・遊歩道）

◆現 状：重信川沿いにサイクリングロードが一部整備されているが、安全面や重信川を快適に周遊できない箇所があるため、安全・快適な重信川の活用が望まれる。

◆ハード施策：重信川沿川のサイクリングロードとなる周遊コースの整備、橋梁交差点部等で分断されているルートについて、アンダーパスの整備、道幅が狭く自動車等との接触の危険がある区間における高水敷の通路整備。【愛媛県、関係市町、国交省】

◆ソフト施策：水辺散策やランニング、サイクリング環境の整備（イベントの開催、ルート設定、距離表示、マップ作成などにより利用促進を図る） 【愛媛県、関係市町】



6. 各拠点箇所での整備内容（案）（サイクリングロード・遊歩道）

アンダーパスやブルーラインなど安全・快適な自転車道・遊歩道が整備されれば・・・



ジョギング大会



初心者向け教室



レース大会



シクロクロス

さらには、安全・快適で自然豊かな重信川を舞台として、様々なイベントの開催が期待できます！

しまなみ海道のような利用者や、地元の方の散策が増えるでしょう。

遊歩道はジョギング、散策、イベントでの利活用が増えるでしょう。



利用者が増えれば、交流の機会も生まれるでしょう。

サイクリングロード・遊歩道の整備による効果のイメージ

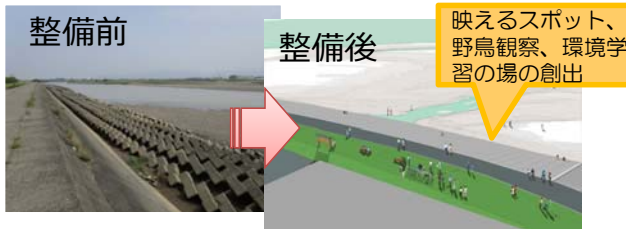
交流し、走りながら・歩きながら、重信川の自然ともふれあえます。



7. 整備箇所（リバースポット）の概要（1/4）

整備箇所	整備内容(案)	対象者	整備後の効果
重要自転車コースである「重信川自転車道～水と緑の癒やしのみちコース～」	【自転車道の利便性向上】 ◆重信川をシームレスに周遊できる自転車・歩行者道 ◆高架橋下への休憩施設 ◆案内板やブルーライン、路面案内標示等	サイクリング・ウォーキング利用者（県内外、インバウンドも含む）	◆県外やインバウンド等も含めたサイクリング・ウォーキング利用者の増加が期待できる ◆市民の健康増進・交流の活性化
①河口	【河口に沈む夕日スポット】 ◆重信川の河口部まで通じる自転車・歩行者道 ◆著名な夕日スポットの休憩施設 ◆ベンチ、サイクルスタンド等	サイクリング・ウォーキング利用者（夕日スポット来訪者（インバウンド）含む）	◆県外やインバウンド等も含めたサイクリング・ウォーキング利用者の増加が期待できる ◆周辺市街地と川との結びつきの強化
②出合	【松山の風物詩の活性化】 ◆松山市の秋の風物詩であるいもたき等を水辺で楽しめる「会場・カフェ等」 ◆駐車場、歩行者・自転車道（人々が訪れやすい環境整備）	いもたき、カフェ等の来客	◆秋の伊予路の風物詩である「いもたき」やカフェ等の開催による、にぎわいのある水辺空間の創出

リバースポット① 河口



リバースポット② 出合



16

7. 整備箇所（リバースポット）の概要（2/4）

整備箇所	整備内容(案)	対象者	整備後の効果
③中央公園	【70万人がにぎわう水辺】 ◆水辺の景色の中での各種イベント（水辺のカフェ・マルシェ・コンサート等） ◆ベンチ、サイクルスタンド等	四国最大の複合公園「松山中央公園」の利用者（年間約70万人：インバウンド含む）	◆70万人が利用する松山中央公園に隣接する河川区域において、多くの市民が集い憩いの場となる水辺空間の創出 ◆県外やインバウンド等も含めたサイクリング利用者の増加が期待できる
④徳丸公園	【中流のサイクリング休憩所】 ◆車で訪れるジョギングやサイクリングの出発地点や安全講習会場 ◆ベンチ、サイクルスタンド等	サイクリング・ウォーキング利用者（安全講習受講者含む）	◆サイクリング・ウォーキングの利用者の増加（安全講習受講者含む） ◆利用者の増加による、市民の健康増進・交流の活性化
⑤赤坂泉公園	【桜舞うサイクリング拠点】 ◆進入路としての坂路 ◆ランナー、サイクリストの休憩施設として、ベンチ、案内板、サイクルスタンド等	サイクリング・ウォーキング利用者（インバウンド等の花見利用者含む）	◆サイクリング・ウォーキングの利用者の増加（花見利用者含む） ◆利用者の増加による、市民の健康増進・交流の活性化

リバースポット③ 中央公園



リバースポット④・⑤ 徳丸公園・赤坂公園



17

7. 整備箇所（リバースポット）の概要（3/4）

整備箇所	整備内容(案)	対象者	整備後の効果
⑥松原泉	【水辺環境学習の中心地】 ◆環境学習の場としての利便性の向上(駐車場、坂路、歩行者・自転車道) ◆ベンチ、サイクルスタンド等	自然観察等の利用者(環境学習の実施者及びその受講者含む)	◆自然再生箇所における利便性の向上による、環境学習の活性化
⑦広瀬霞	【周辺住民の憩いの場】 ◆高水敷を活用した駐車場 ◆安全性向上のための歩行者・自転車道 ◆ベンチ、サイクルスタンド等	近隣の居住者等	◆高水敷等を活用した利便性の向上による、交流の機会の増加

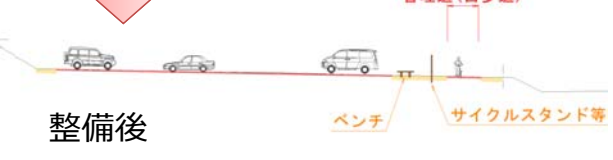
リバースポット⑥ 松原泉高水敷



リバースポット⑦ 広瀬霞前の高水敷



利便性の向上による交流の機会の増加



7. 整備箇所（リバースポット）の概要（4/4）

整備箇所	整備内容(案)	対象者	整備後の効果
⑧重信工業団地前	【桜づつみと水辺の連続性】 ◆高水敷の造成・緩傾斜堤(親水空間の確保) ◆フリーマーケットやスポーツイベント等(民間参入等) ◆高水敷を活用した駐車場 ◆ベンチ、サイクルスタンド等	水辺のフリーマーケットやスポーツイベント、花火大会等の来客(東温市・松山市・インバウンド等)	◆整備した高水敷の開放により、フリーマーケットやスポーツイベント、花火大会等、多くの人々が集い憩いの場となる水辺空間としての活性化 ◆民間事業者の参入による水辺空間の有効活用
⑨開発霞	【様々な世代が集う水辺】 ◆坂路・自転車・歩行者道 ◆トイレ、水飲み場、案内板 ◆ベンチ、サイクルスタンド等 ◆スラックラインパーク	公園の利用者(パークキュー等)・イベント利用者(インバウンド含む)	◆フリーマーケットやスポーツイベント等、市民が集い憩いの場となる水辺空間としての活性化 ◆小学校～大人まで集まる場での交流の活性化 ◆スラックライン大会の開催等によるインバウンド等の集客が期待できる

リバースポット⑧・⑨ 重信工業団地前・開発霞高水敷



多くの市民が集い憩いの場となる水辺空間としての活性化

8. 各拠点箇所での整備内容（案）（リバースポット①：河口）

【将来イメージ】



8. 各拠点箇所での整備内容（案）（リバースポット②：出合）

【将来イメージ】



8. 各拠点箇所での整備内容（案）（リバースポット③：中央公園）



22

8. 各拠点箇所での整備内容（案）（リバースポット⑧：重信工業団地前）



23

8. 各拠点箇所での整備内容（案）（リバースポット⑧：重信工業団地前）

【重信工業団地前の利活用】

- ◆平常時：近隣住民によるウォーキングや隣接する企業の健康増進活動（高水敷を周回するジョギング）を始め、土日では地元の産直マーケット、また今後設置される東温スマートIC（仮称）によるアクセス性の向上で地域外からのキャンプ、花見等、憩いの場所として利用する。
- ◆イベント時：広い河川空間で、大規模なフリーマーケットや東温市の花火大会（観月祭）、マラソンやサイクリング大会の拠点などのイベントで利用する。

平常時利活用



ジョギング



産直マーケット



ドローン練習



デイキャンプ

イベント時利活用



フリーマーケット



花火大会



マルシェ



スポーツイベント
（ファミリーマラソン）

24

9. 民間による河川空間の活用例（リバースポット⑨開発霞）

重信川のミズベリングの取組

Vert マルシェの開催（フリーマーケット）

- 日時：平成31年5月5日（日）10:30～16:00
- 場所：かすみの森公園（東温市管理：河川占用箇所）
- 規模：出展数 約40ブース、参加者数 5000人程度

開催に対する各管理者の対応

- 河川管理者（国土交通省）：高水敷きを駐車場として許可（一時使用）
- 公園管理者（東温市）：かすみの森公園での開催許可

Vert マルシェ



25

10. 水辺を活用して様々な活動が可能

◆リバースポット(憩いの場)の整備をもとに、年間を通じたイベントの実施が考えられる。

春

- お花見会
- WeLove石手川(清掃活動)



基盤整備にあわせて
花木などを整備

夏

- 水辺で乾杯(7/7)
- 88クリーンウォーク(8/8)
- 花火大会



記念日などを足掛かり
にしたイベントを企画

通年

- カフェ・バー
- フリーマーケット
- マルシェ
- 民間事業者の
参入
- 重信川写真展

Vertマルシェ
などの実施主
体と協働



秋

- お月見会
- 句会
- いもたき

愛媛・松山の伝統的な、
俳句・いもたきを中央
公園でも展開



寒い季節に応じた
スポーツ企画

- リレーマラソン
- サイクリング講習会
- ウォーキングイベント

11. 環境学習・防災学習として活用

◆現 状: 重信川では、環境学習の場として自然再生事業が実施されている。また、学習指導要領の改訂にともない、「生きる力」として、防災教育の充実が求められている。

◆**環境学習**: ・かわまちづくり拠点箇所や「自然再生箇所」、「森の交流センター」などの既存施設を有効活用する為、小中学校や関係機関と連携し、ソフト施策等の充実。
・かわまちづくり拠点箇所等でのサイエンスカフェなどの実施、一般市民を対象としたソフト施策等の充実。



◆**防災学習**: ・かわまちづくり拠点箇所や既存施設の防災ステーション、岩堰等の歴史的治水施設などを有効活用する為、小中学校や関係機関と連携し、ソフト施策等の充実。
・かわまちづくり拠点箇所等での防災・水防訓練の実施、一般市民を対象としたソフト施策等の充実。



『重信川かわまちづくり』が新規登録！伝達式を開催

- ◆平成31年3月23日に、重信川(東温市かすみの森公園)で松山河川国道事務所から、東温市長へ「かわまちづくり」計画の登録証伝達式を開催し、地元小学生など約300人がお祝いました。
 - ◆かわまちづくりの一環として、東温市が河川敷公園に先行整備した「東温市かすみの森スラックラインパーク」のオープン記念イベントも同時開催し、多くの人で賑わった。
- ※スラックラインとは、細いベルト状のライン(5cm程度)の上でバランスを楽しむスポーツで、体幹、バランス感覚や集中力などを鍛えることができると話題となっている。



東温市長へ登録証を伝達



地元の子供達と記念撮影



元ワールドカップチャンピオン大杉徹氏がイベントに駆けつけ演技を披露



東温市長も体験



新聞記事【H31. 3. 24愛媛新聞】



大杉氏のInstagramでは、世界中で300人以上が「いいね！」

東温市長コメント「今回、整備したスラックラインパークのように、今後も河川空間を積極的に活用するとともに、流域の官民連携により、地域の賑わいに繋げていきたい。」

重信川ミズベリング・プロジェクト HPの開設



トップ > 川について > 重信川ミズベリングプロジェクト



「ダメ！ダメ！」から「やれるかも！」へ かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を市民、企業、行政が三位一体となって創造していくプロジェクトの事です。

※ミズベリング＝ 水辺+印刷(輸) + 水辺+印刷(ベーション)+印刷(進捗)の通称。



かわまち